

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこにこスイッチ		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育やパソコン支援など、特色あるプログラムを取り入れている。	児童の特性や発達段階に応じて、運動・PCそれぞれの内容を調整し、成功体験を積めるよう段階的な支援を行っている。また、飽きが来ないようにプログラム内容を定期的に見直している。	運動・PCそれぞれの専門性を高めるための研修や情報収集を行い、より個別最適化された支援内容へとブラッシュアップしていく。
2	土・祝日の外出活動を通じて集団活動の機会を多く提供している。	外出先や活動内容を事前に検討し、児童同士の関わりが自然に生まれるような環境設定を行っている。また、活動中も職員が適切に関わりながら社会性の向上を促している。	地域資源を活用した活動の幅を広げ、より多様な経験ができる機会を増やすとともに、集団活動の中での個別支援の質を高めていく。
3	保護者との連携を大切に、日々の支援に活かしている。	送迎時のコミュニケーションやSNS等を通じて、児童の様子や課題を共有し、家庭と一貫した支援ができるよう意識している。	面談や情報共有の機会をさらに充実させ、保護者のニーズや不安をよりの確に把握し、支援内容へ反映していく体制を強化する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が十分とは言えない。	日々の療育や外出活動が中心となっており、地域住民や他施設との交流機会を意識的に設ける機会が少ない。	地域のイベントや公共施設の活用を積極的に行い、地域との関わりを増やすとともに、社会参加の機会を意識的に取り入れていく。
2	保護者同士の交流機会が少ない。	個別対応を重視しているため、保護者同士が関わる場を設ける機会が少なく、横のつながりが生まれにくい状況がある。	保護者会や交流会の実施を検討し、保護者同士が情報共有や悩みを共有できる場づくりを進めていく。
3	各種マニュアルや訓練の周知が十分に伝わっていない。	マニュアルの整備や訓練自体は実施しているものの、全職員への理解浸透や継続的な確認の機会が不足している。	定期的な研修や振り返りの機会を設けるとともに、マニュアルの見直しや共有方法の工夫を行い、全職員への周知徹底を図る。